

渇水の記憶～大渇水の体験談①～

令和3年9月

福岡市水道局総務課広報広聴係

6月1日「節水の日」に合わせて、「渇水の記憶」と称して、昭和53年や平成6年の大渇水の体験談を募集しました。応募いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

ご一読いただき、「水のたいせつさ」について改めて考えていただければ幸いです。

※年齢年代は応募時（令和3年5～6月）のものであります。

※極力原文に手を加えずに掲載しています。ただし、タイトルが記載されていない体験談

については、水道局で加えています。

①「7歳の私」 THさん(40代)

昭和53年当時小1の私。〇〇団地に住んでいて、私の父、母、私自身も耳が不自由で3人家族。今のように携帯、FAX、ネット普及のない時代。情報の網はいつも近所に住む健常者の祖母、または理解のある団地の住人たち。

長く雨が降っていない日が続き、ある日、水がでなくて困ったと母が憔悴していた。私も焦った記憶は今でも鮮明に覚えています。

そんな時、父が外にたくさんの方が並んでいるよ、何だろう？と教えてくれ、母が確認の為、外へ行きました。

戻ってきて「今すぐバケツ、やかん、鍋を持って並ぶのよ!水を供給してくれるのよ」とあわてて言ってきたので、家にある物を手に取り、すぐ外へ飛び出しました。タンクと思われる長ーい建物の前に長蛇の列。近所の人に会い、「さっきから団地放送があったのに知らせなくてごめんなさい」と謝ってきましたが、皆さんも大変な思いをして必死だったと子供ながら感じ取れました。何時間並んで待っていたけど水を手に入れられると思うと、苦にならなかったと思います。

今思えば、耳が不自由な人に伝達・情報がいつも遅れがちで伝わらない事が多かった時代。自分の足で行く・目で確かめる・人伝に聞く(筆談・ゆっくり口語)のが当時にとっては当たり前でした。

この体験を機に水の大切さを身に染みており、今でも節水をする意識や心がけは変わっていません。

②「福岡大湧水の中で」 NMさん(60代)

1977年(昭和52年)に、福岡市の学校給食の調理員に採用され、翌年の5月に結婚しました。当時、団地の5階に住んでいて、20時から水が止まるので、ポリバケツとお風呂に水を溜め、案外家事ははかどっていたと思います。実家が井戸水だったし、子供もまだいなかったのも、個人的にはあまり困っていませんでした。

しかし、学校給食にとっては、大事件でした。野菜も十分に洗えない!食器の洗浄も大量

の水を必要とする。もう、40 年も前なので、おぼろげな記憶しかありませんが、揚げ物と、
いろんな野菜が入ったミックスベジタブルのソテーが多かったように思います。野菜不足を
補うために、トマトジュースも出ましたが、子供達は、飲み慣れていない為、たくさん残りま
した。当時の献立表を見たいものです。

この時期、叔母が給水車の水をもらい、団地の5階に登り降りをしていて、アキレス腱を
切り、1ヶ月入院していました。

1994年(平成6年)の時の湯水は、給食には大きな影響はありませんでしたが、葉物
は少なかったので、日常に戻った時、「これでもか!」と言いたくなるくらい、野菜の使用
量が増えた事を覚えています。

毎日毎日、ダムの水量に一喜一憂していました。節水コマが、78年の大湯水以降、福
岡市の公的施設に使われるようになりましたね。節水意識は、しっかりと身につけています。
その当時の水道局の皆様、本当にありがとうございました

③「トマトジュース」IMさん(40代)

私の記憶にあるのは昭和53年の大湯水です。

当時小学校1年生だった私は、楽しみにしていた初めての体育のプールの授業がなく
なり、少し残念な思いをしたことを覚えています。

福岡市水道局からお詫びにと瓶詰めトマトジュースが給食で配られました。当時トマ
トジュースが飲めなかったので、記憶に残っているのだと思います。(確か500mlくらいも

しかしたらもっと少なかったかもしれませんが、小さかったのでそのくらいの量に感じる大きさでした)

旧友と昔ばなしをする時、いまだにこの渇水時のトマトジュースの話が出ます。今ではトマトジュースも飲めるようになりましたが、トマトジュースを見ると渇水を思い出します。

④「茶色の水」 MKさん(50代)

昭和53年の大渇水、もう40年以上昔の話になるんですね。

当時小学5年生だった私がなんとなく覚えていること。

当時、熊本市から引っ越して間もないころだったので、年中、豊富な地下水に恵まれている熊本市に住んでいたものとしては、蛇口をひねっても水が出ない、というのは結構衝撃的なものでした。

給水の時間が限られていて、その時間内に水を溜めるための大きなポリペール(プラスチック製のごみ箱)を2~3個買ってきて、準備してました。

時間になって蛇口をひねると「ゴボッ!ゴボッ!」と音がした後、錆を含んだ茶色の水が「バーッ!!」と出てきたことをはっきりと覚えています。

もったいないのでその水もポリペールに入れて、上澄みを使ってました。

どの位の期間、断水が続いたか覚えていませんが、水の大切さが身に沁みました。